

「放射線副読本」を撤回させ、 脱原発・放射線教育を総合教育で

文科省がすでに全国の小中学校・高等学校へ配布した「放射線副読本」は、放射線の危険性を隠して日本の原発を延命させることを目指すもののようです。フクシマ事故の重大性と放射能汚染の深刻さには全く触れず、むしろ放射線が医療などに役立つことを強調し、被ばくの危険性を過少に示しています。これでは汚染地の子どもたちが事故と汚染を理解して被ばくを避ける助けにもならないし、全国の子どもたちが現実を理解して、福島や東北・関東の人々に連帯する基礎にもなりません。

この「副読本」は原発推進の特別会計から出されています。フクシマ事故を体験した後に、子どもたちの幸福な未来のための教育を行うべき文科省が配布すべきものではありません。批判の声を広め、撤回・回収させましょう。そして、全国の学校で原発・原子力をどうすべきか、子どもたちがよく考えることのできるような教育を作って行きましょう。

「放射線副読本」が公表されて以来、批判活動に取り組んでこられた小寺さんをお招きし、学習討論を行いたいと思います。とりわけ、教育に関わっている・関わってきた方々に参加をお願いします。

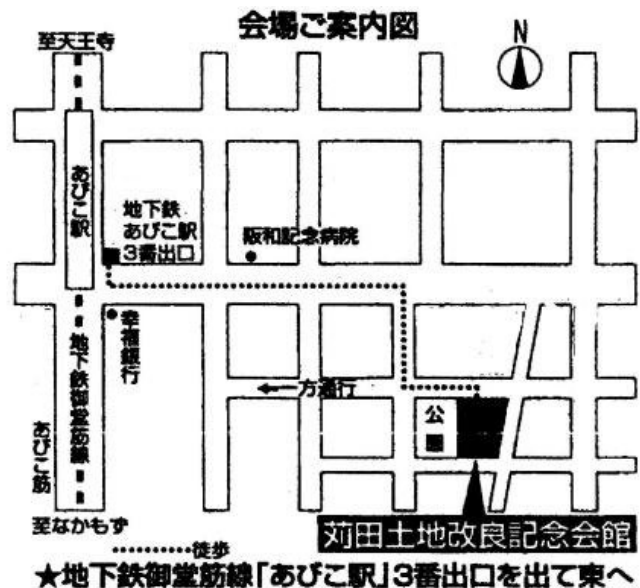
会場

大阪市住吉区苅田9丁目5-27

地下鉄御堂筋線「あびこ駅」下車
3番出口

東側約400メートル 徒歩5分

Tel : 06-6608-0670



「放射線副読本」を撤回させ、脱原発・放射線教育を総合教育で

お話・小寺隆幸さん

(京都橘大学、チェルノブイリ子ども基金理事)

4月15日(日) 14:00 ~ 16:30

苅田土地改良記念会館 (御堂筋線我孫子、東へ徒歩5分)

連絡 : 072-336-7201 稲岡